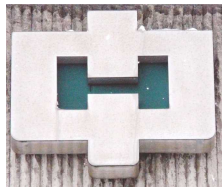


教育目標 「豊かな心で たくましく 自分の人生を切り拓く 生徒」

重点目標 「豊かな心 確かな学力 健やかな身体」



朝 日 子

佐渡市立畑野中学校 学校だより

平成29年 12月12日(火) 第18号

著・編 校長 加藤雄一郎 (TEL 66-2058)

熱心な選挙運動 立派な立会演説会

次期生徒会役員選挙の選挙運動が11月14日(火)から始まっていました。朝、生徒玄関では立候補者、推薦責任者だけでなく、2年生が「よろしくお願ひします」と投票の呼びかけをしていました。寒い日でも、朝の挨拶運動も兼ね元気よく呼びかけていました。2年生全員で盛り上げようとしており、微笑ましく頼もしい光景でした。

11月30日(木)には立会演説会が行われ、4人の立候補者は「畑中をよりよくするために、どんなことをしたいのか」など目指す姿や具体的な方策をしっかりと主張しました。堂々と演説する姿に来年度もよき生徒会がしっかりと受け継がれていくことを確信させてくれました。演説後の質疑では、3年生が積極的に質問し、それに誠実に応える姿も印象的でした。3年生の「畑中を頼むぞ」という先輩の温かい意図を感じました。そして、今年に“+α”の取組を加え、生徒会の発展を予感させる立派な内容でした。

この会には、畑野小6年生も参加し、真剣に聴いていました。これも小中連携事業の一つとして初の試みでした。小学生にとっても、畑中生の畑中に対する思いを肌で感じ、そのエネルギーや意欲を感じたのではないのでしょうか。演説後、畑中1年生と畑小6年生の代表が感想を述べ、成功裏に終わりました。

その翌日12月1日(金)の朝には選挙が行われ、放課後当選者が確定しました。選挙管理委員会を中心に立会演説会の運営、選挙の準備、投票日の厳正な動き等、しっかりと活動をしてくれ、半月間の選挙は終了しました。

投票の結果、次の3人が次期生徒会三役として決定しました。今月正式に任命され、2月から本格的に新体制に切り替わっていきます。もちろん、三役だけでなく、上級生がしっかりと畑野中をリードし支えていくよいところをつなげていってほしいです。新体制の生徒会にも期待しています。

- ◎ 生徒会長 Kさん
- ◎ 生徒会副会長(男子) Oさん
- ◎ 生徒会副会長(女子) Nさん



生徒会選挙を終えて

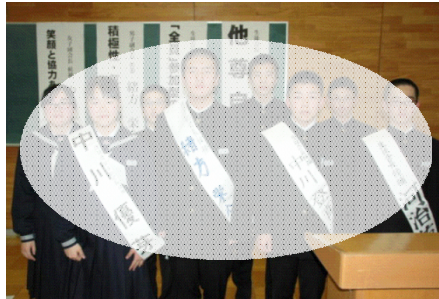
僕は中学生になってから人前に入る役をあまりやっていたなかったので、今回選挙管理委員長になって少し不安がありました。ですが、選挙管理委員の人たちと協力し、例年以上にいい雰囲気の中選挙になったと思います。

立会演説会では、全校生徒みんなが真剣に話を聞

3年 中村

いていて、見学に来てくれた小学生にもよい刺激を与えたと思います。投票時にも、余計な私語は全くなく真剣に取り組んでいたため、いたずらなどの無効票はありませんでした。

来年もこのいい雰囲気の中選挙を続けてほしいです。(選挙管理委員長)



柔道を凜と学ぶ ～礼から始まり、礼に終わる～

1・2年生が柔道授業を行いました。畑野児童館の柔道場をお借りして、保健体育の武道授業として行われました。1回3時間まとめて行い、12月第2週まで短期集中で3回ずつ行われました。11月30日が初日で、1年生が初挑戦しました。柔道着の帯をなかなか締められず、悪戦苦闘する人もいましたが、始まると真剣に凜とした姿勢で授業に臨んでいました。この日は礼法も含め、柔道の心構えや習う意義を教えてくださいました。寒い日でしたが、1年生は元気よく挨拶し、明るく参加していました。講師には金井少年柔道教室の佐藤寿一様をお迎えし、温かく熱心に指導していただきました。ときどき柔道を習っている中川さんが佐藤講師と組んで技の見本を見せてくれ、好誠さんの切れのあるきれいな動きに見入りました。楽しみながら柔道授業を受けた生徒が多く、貴重な時間を過ごせたようです。

【柔道授業後の生徒アンケートより】 肯定的評価の割合

- | | | | |
|--------------------|-----|-----------------------|-----|
| 1 意欲的に学習できたか。 | 93% | 2 技能を向上させることができたか。 | 95% |
| 3 何をするのか分かりやすかったか。 | 94% | 4 外部指導者の方にまた指導を受けたいか。 | 92% |
- どれもとても高い評価でした。男女共熱心に参加していたことが分かります。

柔道をやってみて 1年 本間

最初ちょっと怖かったけど、楽しかった。柔道で見たことのある技をできた時は嬉しかったです。いろいろな技が命に関わることなので、もっと気を付けてやっていきたいと思いました。

最後に試合をして負けたけど、習ったことをちゃんとできたのでよかった。来年は絶対勝ちます！

上達した実感あり 2年 本間

受け身は横と前が少し難しかったけど、体さばきはあまり難しくなかった。浮き腰の時は、少し怖がってしまっていたので、余計に痛かった。怖がらないでやった方が安全だということを学びました。

2回目では、受け身が前より受け身っぽくなった気がしました。寝技は1年ぶりでしたが、それらしくできました。柔道を習って、遊び半分に技を掛けたりしないようにしたいです。



薬物乱用の怖さ学ぶ ～断る勇気、自分を守る～

薬物乱用防止教室が4日(月)、3年生を対象に行われました。講師に佐渡地域振興局健康福祉環境部の荻野寛子様をお招きし、講話をいただきました。ビデオ映像も活用しながら、とても分かりやすく教えてくださいました。薬物乱用の怖さ、1回でも自己破滅になると警鐘を鳴らしてくれました。

最近、一般の人や未成年者でもSNSの普及で、薬物乱用が減らない。新潟県でも年間70～80人が危険ドラッグを使用し捕まっているとのこと。薬物の誘惑があっても、ハッキリ、キッパリ断る勇気をもつことが大切だと話してくれました。誘われた時、少しでも迷っている様子を見せると隙をみせることになるのできっぱり断り、その場から離れることが大切です。



危険な薬物乱用 本間

危険ドラッグは1回少しだけ使ったとしても、薬物乱用になることが分かりました。

それに、薬物にはいろんな種類があり、幻覚などが見える薬物や抑制力を抑える物などがあることを学びました。

薬物は1回使っただけで、一生治らない危険なものだということを改めて実感させられました。

誘われてもハッキリ断る 渡部

薬物乱用はとても危険なことだと思います。最近では、一般の人でも簡単に薬物を手に入れることができるのでびっくりしました。薬物を乱用することで、心も体もおかしくなってしまって、周りにも迷惑かけまくるし、これからの人生も大きく変わってしまうので、絶対に使いたくないです。

薬物は自分や大切な人も傷つけてしまうので、誘われてもハッキリ断りたいです。ダメ、ゼッタイ！